

カミノトピックス



みんなで楽しく…

9月11日に千歳市社会福祉協議会様主催の「2010ふれ愛デーチャリティパークゴルフ交流会」が、千歳市内根志越のリバーサイドゴルフで開催され、参加してきました。

コースも36H・18H・1日開放の3コースがあり、開催前日は雨の心配もありましたが、天気の崩れもなく、秋の爽やかな空気の中で障がいのある方・健常者の方・老若男女と一緒にプレーを楽しみました。当社チーム（3名）は、プレーの途中から、成績よりも「秋晴れの中の運動」を目的としましたので、成績はいまいちでしたが、楽しい時間を過ごすことができました。午後からは、ギターや二狐の演奏、フラダンス等で楽しませて頂きました。出演されていた方々は、施設の慰問等もされていて、ご要望があれば、お気軽にボランティアセンターにお問い合わせくださいとのこと。食事も用意していただき、帰りにはお土産も頂き、お腹もいっぱい楽しい一日を過ごすことができました。

今年は色々な行事が重なり、参加者が昨年より若干減ったそうです。

いろいろな人達と何かを「いっしょに」することで、学び感じる事がたくさんあるように思います。

来年は是非みなさんも参加されてはいかがでしょうか。

（談：E.S・柴田）



プロからアマまで賑やか
昼食のカレーライスに豚汁と
お腹いっぱいでした

リハビリテーション セラピストを目指して

今回は、恵庭市内でリハビリテーションの専門職を養成する『専門学校日本福祉リハビリテーション学院』様をご紹介します。

平成7年に医療・福祉の現場から誕生した専門学校として、これまでに900名を超える卒業生をリハビリの現場へ輩出されており、全道で唯一リハビリテーション3学科（理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科）が揃った専門学校として、社会に出る前からそれぞれの仕事の役割を考えられる連携教育ができる学校です。

学校の中へ一歩入ると、外部からの来客に対し、いつも元気よく挨拶をする学生達がとても印象的で、みな目標に向かって日々勉学に励んでいます。また、今年はクラブ活動でも「バスケットボール部」「サッカー部」「野球部」が全国大会へ出場され、勉強のみならず課外活動においても大いに活躍しています。

専門学校日本福祉リハビリテーション学院の学校法人である「学校法人つしま記念学園」は、ジャパンケアグループがこれからの社会で必要とされる人材を育成するために設立したもので、姉妹校の「専門学校日本福祉学院」「専門学校日本福祉看護・診療放射線学院」（札幌市）においても各専門職を養成しており、グループの総合力を活かした人材育成が行われています。

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の仕事内容を聞き、いずれ私も患者の一人として心身に障害が発生した時にお世話になるのかな・・・と考えさせられました。その時も、元気に対応していただければ、長生きできるかな。

（談：奥山）



天井まで吹き抜けのアトリウムになっており、壁面の色とりどりのガラスから光が差し込んできます



機能訓練室
現場と同じ環境で勉強です



大教室

何事も経験です！

今春の大学生の就職未定者が10万人を超えた、そんな新聞記事を見て、自分の大学時代を思い出しました。しかしながら、30数年も前の事なので記憶の前後があやふやな所が・・・。

大学入学と同時に応援団の非合法的な勧誘により団員になり、結局4年間応援団生活を過ごす事になりました。合宿、遠征、東北学院大との定期戦、北海道応援団連合祭、全日本学生応援団連盟祭など秋田、仙台、郡山等への旅費などの捻出のため、夏・冬休みのバイトは欠かす事の出来ないものでした。

夏の建築工事現場はビルの4階から丸太の足場を昇ったり降りたり、大変な思いをしたものです。

色々なバイトをしたなかで特に思い出するのが冬休みの、今はもうありませんが五番館の地下にあった当社のお取引先でもある佐藤水産様の新巻売り場です。

当時、合気道部の独占バイト先を、今は佐藤水産の市場店の店長をしている(たぶん)徳光先輩から援団でやらないかと話があり、1年生がお世話になりました。

2年生の時に第一次オイルショックがあり、企業の募集が半減した時にも変わらず、結局4年間毎年お歳暮シーズンの1ヶ月半程バイトをする事ができました。

バイト初日からいきなり接客、オス、メスの区別も判らず冷や汗ものでした(笑)

クレーム受付と説明、地方発送の山と積まれた伝票記入、包装の仕方など大変でしたが、活気のある売り場で、話し方、態度など色々な面で学ぶ事の多い職場でした。

当時の野村部長、西村課長、会田係長、女性社員の方々には本当にお世話になりました。

もちろん徳光先輩から話が来なければ、この様な経験は出来なかったと思います。

その後の就職に向けて非常に良い勉強をさせていただきました。

「何事も経験することに無駄はない」そう思う今日この頃です。

(談：JR・西道口)



明光商会のMSシュレッダーの修理について

下記のMSシュレッダーは2010年11月20日をもって生産終了から7年が経過するため、修理対応用の部品保有期間が終了しますので、修理が不可能となります。

皆さんのシュレッダーは大丈夫ですか？

- | | | |
|----------------|----------------|-------------|
| ・122MA | ・2270SW-N | ・2270MW-N |
| ・231MA | ・231MA-R | ・4270SU-N |
| ・4310SU-N | ・4400SE-N | ・431MA-FP |
| ・カラス V3(2285S) | ・カラス V5(4400S) | ・C231RtD |
| ・C431S | ・MSu-V231 | ・MSu-V231R |
| ・MSu-V440FP | ・MSu-V431FP | ・MSu-V440FP |
| ・IVP231L | ・231CP | ・431CP |
| ・440CP | | |

※2010年11月21日以降は、調整・清掃作業のみとなります。

創業54年スタートにあたり

「過去に経験のない猛暑は何をもたらすのか」

経済が疲弊するなか天候までが私たちを痛める。異常気候なのか人類への警告なのかはたまた天罰なのか不気味さと不安を感じざるをえません。

一年前多くの国民の期待で誕生した民主党政権も前政権と変わらず「国民第一」と明言しながら、何をするかどうしたいのかまったく迷走し理解できないまま党利党略混迷だけが深まっているかのように感じます。政治にだけ期待してもダメだということはわかりますが、責任ある政治家は少なくとも国のあるべき姿を示してほしい。約束したことだけでも付託にこたえて実行するという義務があると思います。

猛暑と景気低迷、この未曾有の危機を脱するつてはあるのでしょうか。

一つとして「環境経営」という発想が不可欠な気がします。環境保全と利益創出を両立させることを考えなければなりません。それは無理と思えばできませんが、どちらかが遅れると存在するチャンスをも失うことになりませんか。

弊社も10月から48期のスタートを切ります。社員の力モチベーションをどう維持し、この難局を乗り切るか真価が問われることだと肝に銘じています。日頃から何かとご支援いただき充分な貢献ができませんが、ここは時代を見据えた成長分野をECO事業と選択し集中する活動に舵を切っていきたいと思っています。新しいことへの挑戦が生き残りの唯一の方法と関心してことを進めたいと思っています。

今まで以上に力浴えを賜りますようお願い申し上げます。

2010年9月

株式会社 カミノ
代表取締役 青木 昭弘

2010年9月30日 VOL.63

発行元：(株)カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kamino@rose.ocn.ne.jp